

教育目標「豊かな人間性や社会性を身につけたたくましい稲中生」

「目指す生徒の姿」
自ら学ぶ生徒
思いやりのある生徒
健康で働く生徒

師弟一如

稲田中学校学校だより
第 15 号
平成 27 年 10 月 14 日
文責 校長 安齋 次弥

「教室はまちがうところだ」 蒔田 晋治：作 2004「子ども未来社」より



教室はまちがうところだ
みんながどしどし 手をあげて
まちがった意見を 言おうじゃないか
まちがった答えを 言おうじゃないか

まちがうことを おそれちゃいけない
まちがったものを わらっちゃいけない
まちがった意見を まちがった答えを
ああじゃないか こうじゃないかと
みんなで出しあい 言いあうなかで
ほんとのものを 見つけていくのだ
そうしてみんなで 伸びていくのだ

いつも正しく まちがいのない
答えをしなくちゃ ならんと思って
そういうことだと 思っているから
まちがうことが こわくてこわくて
手もあげないで 小さくなって
だまりこくって 時間がすぎる

しかたないから 先生だけが
勝手にしゃべって 生徒はうわのそら
それじゃちっとも 伸びてはいけない

神様でさえ まちがう世の中
ましてこれから 人間になろうと
しているぼくらが まちがったって
なにがおかしい あまりまえじゃないか

うつむき うつむき
そうっとあげた手 はじめてあげた手
先生がさした
ドキッと胸が 大きく鳴って
どつきどつきと 体が燃えて
立ったとたんに 忘れてしまった

なんだかぼそぼそ しゃべったけれども
なにを言ったか ちんぷんかんぷん
私はコトリと すわってしまった

体がすうっと すずしくなって
ああ言やあよかった こう言やあよかった
あとでいいこと うかんでくるのに

なんどもなんども 言っているうちに
まちがううちに
言いたいことの 半分くらいは
どうやらこうやら 言えてくるのだ
そうしてたまには 答えもあたる

まちがいだられの ぼくらの教室
おそれちゃいけない わらっちゃいけない
安心して 手をあげる
安心して まちがえや

まちがったって わらったり
ばかにしたり おこったり
そんなものは おりゃあせん

まちがって だれかがよ
なおしてくれるし 教えてくれる
困ったときには 先生が
ないチエしぼって 教えるで
そんな教室 つくろうやあ

おまえへんだと 言われたって
あんたちがうと 言われたって
そう思う だからしょうがない

だれかがかりにも わらったら
まちがうことが なぜわるい
まちがってること わかれればよ
人が言おうが 言うまいが
おらあ自分で あらためる
わからなけりゃあ そのかわり
だれが言おうと こづこうと
おらあ根性 まげねえだ

そんな教室 つくろうやあ



今年のノーベル医学・生理学賞に決まった北里大特別荣誉教授大村智先生の学生に伝えたいことを問われた時のコメント「失敗を恐れなくてほしい。誰よりも失敗した人が成功する。人がやらないことをやるから失敗するんだから」と言うのを聞いて思わず左の詩を思い出しました。おそれちゃいけない/わらっちゃいけない/安心して手をあげる/安心してまちがえや こんな教室で授業が行われるよう努力していきたいと思えます。生徒の皆さん授業中は、どしどし手をあげ授業に参加しましょう！

松明づくりの準備着々進んでいます！！

地域の方々やPTAの方々の支援をいただいて順調に進んでいます！！

晴天に恵まれた9月26日(土)は萱刈を10月10日(土)には竹切りと萱運びを稲田中学校松明づくり協会の皆さんとPTA、地域の方々、日本工営の支援をいただきながら順調に進めています！！伝統ある松明あかしには目に見えない部分でのご苦労があるということ、保護者の方々の支援はもちろん、地域の方々の理解とご協力がなければ決して立派なものができない実感しています！！ご協力ありがとうございます。

松明づくりの制作は、10月31日(土)に行います。3年生が中心となって行いますが、折角の機会です保護者の皆さんの多くの参加とご協力よろしく願います。

